

報道関係 各位

2016年10月20日
株式会社日本レースプロモーション

10月29日(土)～30日(日)
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回 JAF 鈴鹿グランプリ
開催概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 倉下明、所在地:東京都千代田区)は、10月29日(土)～30日(日)の2日間、三重県鈴鹿市 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1周:5.807km)において、2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回 JAF 鈴鹿グランプリ を開催いたします。

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国5カ所のサーキットを転戦しながら、11チーム(エントリー)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)がチャンピオンを争う、アジア地域唯一の国際格式フォーミュラ選手権シリーズです。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

本大会は、JAFグランプリとして開催されるため、「2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回 JAF 鈴鹿グランプリ」の大会名称で実施いたします。また、Race1、Race2の2レース制で行なわれ、Race1は鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周:5.807km)を19周、トータル110.333km、Race2は、同コースを35周、トータル203.245kmにて争われます。予選は、従来同様のノックアウト方式で行われ、Race1のスターティンググリッドをQ1の結果で決定し、Race2のスターティンググリッドをQ3までの結果で決定いたします。

今大会は2レース制のため、選手権ポイントはレース毎に通常のハーフポイントが付与されますが、今大会に限り、各レースの勝者には、ハーフポイントとは別に3ポイントが与えられます。また、各レースのポールポジションには通常通り、1ポイントが付与され、最終戦で獲得可能なポイント数は、最大18ポイントとなります。

前戦、第6戦スポーツランドSUGO では、No.20 関口 雄飛(イトウチュウ エネクス チーム インパル)が、観客の心を打つ圧巻の走り、今季2度目のポルトゥウィンを果たし、ドライバーポイントランキングで首位に返り咲きました。No.2 国本 雄資(プロミュー/セルモインギング)が4.5ポイント差で2位に、No.36 アンドレ・ロッター(バンテリン チーム トムス)が6ポイント差で3位となっており、その他、最終戦で獲得可能な18ポイント差以内に12人がひしめき、うち6人が自力優勝の権利を持つ大混戦となっています。多くのドライバーに年間チャンピオンの可能性が残されている、近年稀にみる大混戦の今シーズン。シリーズチャンピオンを獲得するのは誰なのか、注目の最終戦となります。



今季2度目のポルトゥウィンでドライバーポイント首位に帰り咲いたNo. 20 関口 雄飛 (イトウチュウ エネクス チーム インパル)

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国5カ所のサーキットを11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントシステム

1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を果た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典として、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

◎シャシー

「クイック・アンド・ライト」をキーワードに開発されたSF14(イタリアダラーラ社製)を2014年より採用。

SF14は、キーワードの「クイック・アンド・ライト」特性を活かし、コーナリングスピードではフォーミュラ1マシン以上のパフォーマンスを叩き出します。この車両を採用して以来、レースの質が一気に向上したことから海外からの注目を集めるようになりました。

◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト=NRE(※1)に基づき開発したHONDA HR-414E、TOYOTA RI4A を搭載しています。

このエンジンの特徴としては「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮しており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

(※1)NRE エンジンについて

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けに決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h
その他大会…燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム

レースを盛り上げる一助として、オーバーテイクシステム(以下OTS)を2009年より採用しています。このシステムは、スーパーフォーミュラが始めた仕組みです。

当該システムは、レースに於ける見せ場の一つである追い越しをより促すシステムです。

SF14のシステムは、各エンジンに装備されている燃料リストラクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げることができます。(※2)ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中は、ドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。

またポイントリーダードライバーは、その榮譽を称える意味から1台だけ赤色のランプ(名称:リーダーズレッド)を装着しています。

(※2)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

◎タイヤ

今シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給です。同社における国内トップフォーミュラへの参戦は、1996年以来20年ぶりとなります。横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

5. 公式予選

公式予選はノックアウト方式(※3)で行われますが、今大会では、Race1のグリッドは予選Q1(20分間)の結果で決定し、Race2のグリッドはQ1〜Q3の総合結果で決定いたします。

(※3)19台エントリーの通常(1レース制)の場合:Q1(20分間)で15位から19位までのスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い9位から14位までのスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1〜8位までの決勝レーススタート位置を決定します。尚、この予選方式は、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、ノックアウト方式という呼称となりました。

6. 決勝レース

Race1、Race2の2レース制で行なわれます。

Race1は、鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5.807m)を19周、トータル110.333kmにて争われます。

Race2は、同レーシングコースを35周、トータル203.245kmにて争われます。また、レース中タイヤ交換(4輪同時)のピットインが、1回義務付けられています。尚、雨天でスタートした際には、交換義務は発生しません。

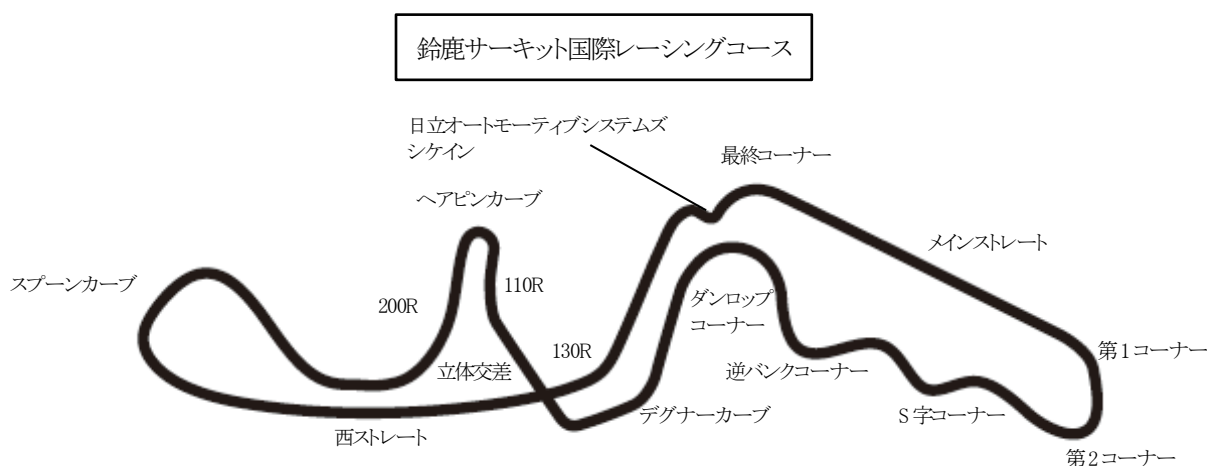
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 開催スケジュール

4 / 23 ~ 24	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5 / 28 ~ 29	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250 km
7 / 16 ~ 17	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
8 / 20 ~ 21	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 km
9 / 10 ~ 11	第5戦/岡山国際サーキット (※)	時間 / ノックアウト	2 レース制
9 / 24 ~ 25	第6戦/スポーツランド SUGO	ノックアウト	250 km
10 / 29 ~ 30	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2 レース制

(※)熊本地震により、第5戦のオートポリス開催は中止となり、代替レースとして岡山国際サーキットにて開催いたしました。

7. 鈴鹿サーキット国際レーシングコースについて

コースは東西に細長く、中間部分の立体交差をはさんで右回りと左回りが入れ替わる、世界的にも珍しい8の字形のレイアウトとなっている。コース全長は5.807kmで、日本のサーキットの中で最長です。コース幅は10~16m。コーナー数は20。最大高低差は52m。世界の多くのサーキットと比べ摩擦係数の高いアスファルト舗装です。土地の高低差と低速~高速コーナーのバランスが上手く配合されており、難易度が高く走り甲斐のあるコースとして評価されています。



Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
©日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

8. 第15回JAF鈴鹿グランプリ / JAFグランプリ について

今大会は、昨年に引き続き一般社団法人日本自動車連盟より、「JAFグランプリ」としてのタイトルが掛けられています。

JAFグランプリは、1973年に最高峰レースであったF2000が全日本選手権となり、翌1974年鈴鹿サーキットでJAFグランプリとして開催されたことから始まります。その後、JAF鈴鹿グランプリとして10回の開催を数え、現在スーパーフォーミュラでチーム監督を務める星野一義氏や中嶋悟氏らがビッグタイトルを獲得しました。また、海外からの有力選手も参加し、いくつもの名勝負が繰り広げられてきました。その伝統の大会が、一昨年28年ぶりに鈴鹿サーキットで復活し、今年は「第15回JAF鈴鹿グランプリ」として開催いたします。

大会数	年度	決勝日	大会名	カテゴリー	優勝者	優勝車名	
1	1974	11月2日	JAFグランプリ自動車レース	F2000	高原敬武	マーチ742・BMW	
2	1975	11月1日	JAFグランプリレース	F2000	星野一義	マーチ742・BMW	
3	1977	11月5日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2000	リカルド・パトラーゼ	シェブロンB42・BMW	
4	1978	11月5日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	高橋国光	コジマKE008・BMW	
5	1979	11月4日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	星野一義	マーチ792・BMW	
6	1980	11月3日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	星野一義	マーチ802・BMW	
7	1981	11月1日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ812・Honda	
8	1982	11月7日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ822・Honda	
9	1983	11月6日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	ジェフ・リース	マーチ832・Honda	
10	1984	11月4日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ842・Honda	
11	1985	11月3日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ85J・Honda	
12	1986	11月2日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	星野一義	マーチ86J・Honda	
13	2014	11月9日	2014スーパーフォーミュラ第7戦 第13回JAF鈴鹿グランプリ	Race1	スーパーフォーミュラ	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14
				Race2		中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14
14	2015	11月8日	第14回JAF鈴鹿グランプリ 2015全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 鈴鹿サーキット	Race1	スーパーフォーミュラ	アンドレ・ロツテラー	PETRONAS TOM'S SF14
				Race2		山本 尚貴	TEAM 無限 SF14
15	2016	10月30日	2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回JAF鈴鹿グランプリ	Race1	スーパーフォーミュラ		
				Race2			

2016 年全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回 JAF 鈴鹿グランプリ エントリーリスト
(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュールセルモ インギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/9/12	日本/神奈川県			
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/8/25	イギリス	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992/9/17	イギリス			
7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/1/14	インド	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	山田 健二	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/9/13	日本/兵庫県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/6/1	日本/東京都			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/7/11	日本/栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991/7/25	日本/東京都	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981/7/13	ブラジル	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/8/1	日本/群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
36	アンドレ・ロットラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	1992/3/26	ベルギー			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/1/29	日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バグット Bertrand Baguette	1986/2/23	ベルギー			

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
				鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1 Rd.5-2		菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2	
1	20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	28	-	-	6	11	-	-	11		
2	2	国本 雄貴 Yuji Kunimoto	23.5	8	1.5	-	5	4	5	-		
3	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	22	2	0.5	5	8	-	2.5	4		
4	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	20	-	-	8	2	1	4	5		
5	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	19	-	9	3	6	1	3	-		
6	41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	19	6	-	1	3	5	1	3		
7	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	15.5	11	2	-	1	-	1.5	-		
8	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	12.5	-	-	10	-	0.5	2	-		
9	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	12	-	2.5	-	-	2.5	1	6		
10	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	12	3	-	4	4	-	-	1		
11	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	11	4	4	1	-	2	-	-		
12	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	10.5	-	1	-	-	1.5	-	8		
13	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	7	5	-	-	-	-	-	2		
14	7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	5	-	-	2	-	3	-	-		
15	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	3.5	-	3	-	-	-	0.5	-		
16	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1	1	-	-	-	-	-	-		
	4	ウィリアム・ブラー William Buller	-	-	-	-	-	-	-	-		
	8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	-	-	-	-	-	-	-	-		
	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	-	-	-	-	-	-	-	-		

*表中ポイント数字の **太字**:優勝 下線:予選ポールポジション

チームポイントランキング

順位	チーム	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
			鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1 Rd.5-2		菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2	
1	P.MU/CERUMO・INGING (プロムユール/セルモ インギング)	41.5	8	6.5	3	11	5	8	-		
2	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	41	2	0.5	13	10	-	6.5	9		
3	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル)	38.5	-	-	16	10	0.5	2	10		
4	DDOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	29	6	2.5	-	3	7.5	1	9		
5	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	14.5	10	2	-	1	-	1.5	-		
6	REAL RACING (リアル レーシング)	14.5	4	7	1	-	2	0.5	-		
7	KONDO RACING (コンドレーシング)	12	3	-	4	4	-	-	1		
8	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング)	11.5	1	1	-	-	1.5	-	8		
9	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	7	5	-	-	-	-	-	2		
10	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	5	-	-	2	-	3	-	-		
	KCMG (ケーシーエムジー)	-	-	-	-	-	-	-	-		

*表中ポイント数字の **太字**:優勝

*チームポイント:各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

－開催概要－

- 大会名称 : 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦
第15回JAF鈴鹿グランプリ
- 開催日程 : 2016年10月29日(土) 公式予選
2016年10月30日(日) 決勝レース
- 主催 : 名古屋レーシングクラブ (NRC)
鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟 (FIA)
一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション (JRP)
- 後援 : 三重県／鈴鹿市／鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会／一般社団法人 鈴鹿市観光協会／
鈴鹿商工会議所／東京中日スポーツ／中日スポーツ／中日新聞社

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

**J SPORTS**

SONY
Action Cam

**NINKI-ICHI**
人気酒造

【TV放映予定】

● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。
放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、
または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/、 <http://www.superformula.net/>

● BSフジ『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。
ドライバーの想いやマシンの秘密に迫るミニコーナーなども加え、スーパーフォーミュラの魅力満載です。

出演者：本山哲、松田次生、春那美希

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

第7回 11/5 (土) 23:00～23:55

第8回 12/26 (月) 23:00～23:55

● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送)『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。
ゲストには参戦ドライバーに加え、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演します。
過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの想いを熱く語ります。

司会はフジテレビF1実況アナウンサーです。

<放送日時> ※放送日は、レース翌週の金曜日。再放送あり。

第8回のゲストは、未定。放送日は11/4(金) 21:30～22:00。

詳しくは番組ホームページをご覧ください。 http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/914200066.html/

● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

今注目のドライバーや監督を毎回ゲストに迎え、知られざるレースの魅力、ドライバーの凄さやプライベート
を徹底的に語りつくす、スーパーなアスリートトークショー。

小林可夢偉と中嶋大祐の二人の参戦ドライバーがパーソナリティを務め、番組の進行はピエール北川、そして
乃木坂46の樋口日奈がナレーションを担当します。

<放送日時>

第7回のゲストは、中嶋一貴、山本尚貴。放送日は、10/23(日) 26:35～27:05(予定)。

10/31(月)から動画配信サービスのFOD(フジテレビオンデマンド)で無料配信開始。

また、第8回は11/13(日) 26:35～27:05放送予定。FODは11/21(月)から無料配信開始。

◎ 世界182カ国でスーパーフォーミュラの放送を開始!

今シーズンから各戦の英語版 52 分ハイライト番組が 121 カ国にて放送されることになりました。この時点で
確定している視聴可能世帯数は約 3500 万、ニュースのみの露出を加えると 182 カ国でスーパーフォーミュラ
の映像が流れます。

【映像の配信】

● ニコニコ動画

土曜日の予選を全戦生中継

<http://www.nicovideo.jp/>

● GYAO!

大会終了10日以降に、スーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信します。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

SONY
Action Cam

NINKI-ICHI
人気酒造

● YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信します。

※配信日時は変更となる場合があります。

詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」

もしくは「YouTube」本サイトでご確認ください。

<http://www.superformula.net/> <https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

● FOD(フジテレビオンデマンド)

フジテレビで放映中の『超速GO音』を、放送日の8日後から無料配信します。

<http://fod.fujitv.co.jp/s/genre/sports>

【インターネット/SNS】

● スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト

<http://superformula.net>

● スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook

<https://www.facebook.com/superformula.official>

● スーパーフォーミュラオフィシャル twitter

https://twitter.com/SUPER_FORMULA

【最終戦(鈴鹿サーキット)のチケット情報】

● 前売観戦券 (2日間有効)

ゆうえんちモータピアパスポート1日券付き

大人:4,000円/中高生:4,000円

小学生:3,100円/3歳~未就学児:2,000円

※10月28日(金)も入場可

● 前売観戦券 (2日間有効)

レース観戦のみ

大人:4,000円/中高生:1,700円

小学生:800円/3歳~未就学児:600円

※10月28日(金)も入場可

● グループチケット(2日間有効)

ゆうえんちモータピアパスポート1日券付き

3名:10,800円(1名あたり3,600円)

4名:13,600円(1名あたり3,400円)

5名:16,000円(1名あたり3,200円)

※10月28日(金)も入場可 ※前売りのみの販売

● JAF会員限定前売り観戦料金 (2日間有効)

ゆうえんちモータピアパスポート1日券付き

大人:2,800円/中高生:2,800円

小学生:1,550円/3歳~未就学児:1,000円

※JAF会員限定ホームページをご確認下さい。 ※10月28日(金)も入場可

その他詳細は下記鈴鹿サーキットチケット情報でご確認ください。

チケット案内 (<http://www.suzukacircuit.jp/superformula/ticket/>)

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション 広報部

102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0131 e-mail:media@jrp-inc.net